

「やまぐち産業イノベーション戦略」(最終案)に関する委員の主な意見

〔推進体制・指標等〕

- ・地域間競争に勝ち残るためには、山口でイノベーションを起こす必要があり、産学公金の連携体制で県内企業の支援を行っていきけるような体制づくりが重要。
- ・製造業を中心とした取組に期待している。
- ・成長分野の取組について、個別ではなく、異なる分野を一体的に捉えるような取組も重要。山口県が日本をリードするようなイノベーションができるとうよい。
- ・指標について、何をもって目標が達成できたと判断していくのか県民に分かりやすく説明する工夫が必要。

〔瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト関連(港湾整備関連)〕

- ・急速な技術革新や市場変化への対応のため、次のステージに向かってステップアップが必要であり、コンビナート企業間連携の取組は重要。

〔自動車新時代に対応したイノベーション創出プロジェクト関連〕

- ・山口県ならではの技術や材料、他に先駆けたものがでてくるよう、県がプラットフォームとなって研究会を実施する取組は必要。
- ・自動車研究会の具体的な製品開発等について、まずは「やってみる」という姿勢でスタートし、中期的にじっくりと取り組んでほしい。

〔大規模産業用地活用促進プロジェクト、地域中核企業立地促進プロジェクト関連〕

- ・工業用水を活かした企業誘致の取組を積極的に進めていくべき。

〔地域中核企業創出・成長支援プロジェクト関連〕

- ・工場設置等、投資の話が決まった後では支援が難しいので、3～4年前から企業との繋がりや支援体制をつくれるカンファレンスチームの取組は重要。

〔高度産業人材確保・活用支援プロジェクト関連〕

- ・産業構造の変化と県内で輩出される人材とにギャップを感じている。
- ・技術交流プラットフォームについて、県内企業との連携は品質管理やスピードで利点があるため、情報交換の場に参加しながら、何かあれば共同で取り組めるという本取組はマッチングの場として意義がある。
- ・OB人材活用の取組はぜひ進めていただきたい。当社も協力したい。
- ・OB人材には活躍してもらいたい。情報流出等の心配はないが、出身企業等の情報の取扱いについて工夫は必要。

〔産業インフラ輸出促進プロジェクト関連〕

- ・本取組を引き続き推進するとともに、農産物のブランド化についても取り組んでほしい。

〔地域産業IoT等導入促進プロジェクト関連〕

- ・成功事例を基にテーマを絞り込む等、企業ニーズを取り込みながら、IoT導入を図っていく必要がある。

〔新山口駅北地区拠点施設整備支援プロジェクト関連〕

- ・拠点施設でどのような取組が行われるのか期待したい。

〔その他〕

- ・小売店等におけるキャッシュレス化への対応の取組も重要。
- ・県内産業の推進について、データ通信網の整備が課題。